



碧南ロータリークラブ週報

第3008回例会 令和4年3月16日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

合同会社Win 代表 藤原直子様

会 長 挨 拶

改めまして、皆さん、こんにちは。早いもので3月も中旬になりました。暦の上では二十四節気の啓蟄（けいちつ）にあたりまして、七十二候では菜虫化蝶（なむしちょうとなる）という節目に入っております。先週からポカポカ陽気が続いておりまして、季節は正に春の到来を迎えようとしております。



新美雅浩会長

さて、3月はRIが2014年に重点分野として規定しました「水と衛生」の月間にあたります。この水の危機について事前に調べてきたことをご紹介しますと存じます。現在、人類が今世紀に入って重大な問題が5つございます。1つ目は水の危機、2つ目は生物多様性の喪失の問題、3つ目は依存症の問題、4つ目が気候変動の問題、5つ目が環境汚染の問題ということで、一般的にこの5つが取り上げられておりますけれども、特に水の危機につきましては、きれいな水を手に入れない人が地球上で9億人程いるというふうに言われております。そして、水を媒介とした感染症が世界全体の死因の第1位になっているということでございます。毎年、その水が原因で命を落とす方が340万人おられまして、その大部分が子供だというふうに言われております。また、国連の情報になりますけれども、2025年には世界の人口の半分が水不足に直面するというところでございます。こうした水の危機に対して、世界の英知ある方々が現在様々なアプローチをして、解決方法を模索しているということでございます。その中に「スリングショット」という浄水器がございまして、少し調べてきましたので、ご紹介させていただきます。

スリングショットは小さい冷蔵庫サイズの浄水器で、動力は乾燥した牛の糞などの可燃燃料です。消費電力はヘアードライヤー並みで、汚染された水を簡単に自宅で浄化して飲むことができるという優れたものでございます。他にもビル・ゲイツさんが支援しております「オムニプロセッサ」という装置もございます。これは人の排泄物から水や電力を生み出すということでございます。それから、もう1つ「スカイソース」という装置もございまして、大気中から1日2000リットル以上の水を抽出できるということでございます。

今後、数年以内に実用化を目指すような開発が加速されているという情報を調べました。ここ数年は特に地球温暖化の解決の話が中心になっておりまして、CO2の削減に向けてエネルギーのテクノロジー化が先行しているんですけども、ご紹介しました水の危機に対するテクノロジー化については5年遅れのような状態でございます。日本では蛇口をひねればすぐに美味しい水が飲めるという環境でございますので、水の危機に対してはなかなか想像しがたいことでございます。RIは水の危機に対して様々なプログラムや奨学金などを支給することを通じて、この10年で世界を人道支援する代表的なプロジェクトとして育ててきているということをご紹介しまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリー囲碁同好会より「第19回ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届いております。なお、大会参加はメイクアップになります。
- ・ RI 日本事務局よりウクライナでの人道的危機への対応について「財団室 NEWS 2022年 号外」が届いております。
- ・ ガバナー事務所より「ヒューストン国際大会日本人親善朝食会のご案内」が届いております。
- ・ 碧南高浜防犯協会連合会より「春の安全なまちづくり県民運動の実施について(お願い)」が届いております。



栗津康之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 12 名) 出席者 56 名	
出席対象者 56 / 62 名	出 席 率 90.32%
欠席者 7 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

- 伊藤 正幸君 W F Fでお願いをさせていただきます。
- 竹中 誠君 西端・西荒居広場環境緑化整備事業、お世話になりました。
- 杉浦 栄次君 西荒居広場に植樹をして頂き、誠にありがとうございます。住民の一人として大変感謝しております。地域みんなで集い、遊び、先人に感謝できる公園として、活用していきたいと思います。父も広場づくりに携わった一人として感謝していました。
- 梶川 光宏君 本日の藤原直子様を紹介させていただきます。
- 石川 鋼勇君 鈴木洋君、元気出してっ！！
- 加藤 鋭哉君 この度、転籍辞令により3月末で退会することになりました。一年間という短い期間でしたが、貴重な出会いと経験をさせていただきました。これからの碧南ロータリークラブの益々の発展を陰ながら応援してまいります。

クラブフォーラム

「地域との接続」

合同会社Win 代表 藤原直子様



藤原直子様

皆様、改めまして、こんにちは。本日はこのような素敵な場所にお招きいただきまして、ありがとうございます。そして、お話をさせていただく機会をいただき、大変感謝しております。

早速ですが始めさせていただきます。こちらの人口ピラミッドを見ていただきますと、2015年から2040年にかけて65歳以上の人口がとて増えています。今後の課題として、多様な就労と社会参加の環境整備、健康寿命の延伸、医療・福祉サービスの改革による生産性の向上、社会保障の持続可能性の確保が必要と言われております。2050年に向かって65歳以上の人を1対1で支える時代、極端なことを言えば、24時間働き続けると支えられない時代がやってくるというふうに言われております。でも、これでは皆様が潰れてしまいます。だからこそ、年を重ねた方々が長く働けるような環境作り、障害があるなしにかかわらず、次世代を担う子供たちや若者や保護者の方々に地域で支え合うことができることを知ってもらう必要があるというふうに言われております。

ここからは私共が実際にやっていることのお話をさせていただきたいと思っております。テーマが「地域との接続」ということで、碧南市では「へきなん地域福祉ハッピープラン」として、基本理念に「地域で築く つながり ささえあうまち へきなん」と掲げられておまして、各地域で地域福祉推進会議を定期的を開催しております。そこには地域の民生委員の方々などが参加されておりますが、残念なことに子育て世代や若者の参加はほぼ無い状況です。ニーズがあっても対応できていないというところが世帯の複合課題の8050問題、名古屋の方では大学生の貧困というのも課題になっております。そんな中で5年前に碧南市で児童発達支援というお仕事をさせていただくきっかけになりました。

児童発達支援事業所ぷちま～るでは理念として、「お子様の力を信じて寄り添い、ご家族と一緒に考え、社会の1つとして仲間・居場所を作る」ということをやっていきたいと思っております。競争的な教育環境と豊かな子供たちが失われてきたことで、自己肯定感が下がってしまい、いわゆる大人になりにくい社会になってきたんじゃないかなあというふうに思っております。だからこそ、一人ひとりの支援と場を作りながら支えていく必要があるというふうに思っております。

ここからはスライドを見ていただきながら、今までやってきた地域の方々とのつながりをご紹介します。こちらが平七町にある東正寺様で、毎月1回子供たちが行かせてもらっております。本堂で遊ばせていただいたり、鐘をつきたいことを大人が一声かけると直接お寺の方に交渉をして、やりたいことが叶っていったり、毎月行くことで仏様に手を合わせるということができるようになってきております。

こちらが小規模多機能ホームひまわり様で、現在はコロナ禍で交流ができておりませんが、お互いの事業所に訪問をさせていただきながら、子供と高齢者の交流というのもさせていただいております。

この右側の写真は毎年1回やっているハロウィンウォークに事業所として参加した時のものです。左側の写真は防災訓練に参加させていただいた時のものです。こういう煙体験というのは普段はなかなかやれなかったりすると、防災訓練をする中で障害の方用にお部屋を作ってくださいなんですが、決められた空間に入っていくことがとても難しいというのがあからさまになりました。また、訓練の場で騒いでいたのは障害を持っている事業所の子供たちではなく、地域の子供たちということも実際の防災訓練に参加することでわかってきました。

その他に地域のつながりというところで、習字の先生やものづくりの方々も事業所に来て教えてくださったり、碧南には農作物の特産がたくさんありますので、ニンジンの収穫だったり、トウモロコシの収穫だったり、落花生の収穫というのもさせていただいております。

そして、こちらは地域を越えて知多でタケノコ狩りをしながら、竹林を走らせていただいたり、岡崎で大きな松ぼっくりを拾いに行かせていただきまして、クリスマスリース作りをしたりということで、自分で取ってきたものを形にするという活動もさせていただいております。

こちらは企業とのつながりになりまして、安城市の建築会社様が障害のある子供たちに職業体験をさせるイベントに参加するために1帖くらいの家を作ったそうです。しかし、1回使っただけでその後の活用がなかなかできていないというお話を伺いまして、是非、子供たちにも体験をさせていただきたいということでお願いをしました。そこから毎月1回この家を安城から碧南まで運んでくださり、電動工具を使いながら子供たちが家を作り上げるという活動をやっていております。これをやることで例えば、家の耐震性のお話をしてくださったりするので、家づくりを少し知るといった機会をいただいております。

そんな中で地域とのつながりを作りながら、ぷちま～るの活動をしてきたんですが、障害あるなしにかかわらず、地域で何かしていきたいということで、子育て中のお母さんと共に「へきなん こども商店街」というのを2019年に開催をしました。毎年1回は絶対にやって

いきたいと言っていたんですが、残念なことにコロナ禍で継続開催ができておりません。子供と地域、そして、お店や企業のつながり、子供たちが企画をして子供たちが運営、大人たちは裏方に回るということを意識しながら開催をしました。来場者は約 250 人、運営側の子供たちが総勢 29 名ということで、来場者の方々から「子供がリーダーシップをとる姿を見て、子供の力に驚きを感じた。」という言葉をいただいたのが今でも心に残っております。

そんな中で現在の世の中で子供を育てている保護者の方々の子育ての不安、子育ての孤立化、子育ての負担、親の不安感が子供にも影響するという状況が出てきております。現在、ふちま～るには発達障害があるお子様、もしくは、発達障害の疑いがあるお子様を抱えた保護者の方々がいらっしゃるんですが、開所した時よりも児童相談所につながるケースが増えてきております。とても苦しい状況になっていて、保護者の方々が潰れてしまうという状況が出てきております。なので、そこを何とか打開できないかなということで、公共のサービスだけではなく、身近なところで「おやお遊び」というのを月に 1 回開催するようになりました。あるアンケート調査で保護者の方々に「自分が好きですか？」という問いをしたところ、「好き」と答えた方は僅か 25%だったという結果が出ているそうです。海外では 90%前後が「好き」と答えるのが現状なのに日本の子育て世代の保護者の方々はなかなか自分が好きと思えない状況だということを知っていただけたらというふうに思います。

現在、ご家庭の中でも家庭労働ということが少なくなっているというふうに思います。例えば、公園の遊具にも年齢制限があるという状況になっております。ということもありまして、福祉サービスでも学校でもなく、子供たちにたくさんの経験をしてもらう場所を作りたいという思いがありまして、「人間学習塾 あそび・まなび家 風の井戸」というのを試験的にやっております。何をするかと言いますと、知りたいという気持ちから色んなことがスタートするんじゃないかなあと思っておりまして、たくさんの遊びをする中で経験をして、真似て、調べて、もっともっとの気持ちが学ぶにつながっていくというふうに思っております。なので、遊びとはということでは遊ぶこと、物事にゆとりがあること、そして、経験することで見るから観る、聞くから聴くに変わってほしいというのが活動の趣旨です。保護者の方々や地域の方々には、子育てに対する固定観念を捨てる教育が必要になってくるんじゃないかなあと思います。

子供も若者も力をたくさん持っていて、ただそれが埋もれているような状況なんじゃないかなあというふうに思っております。本人も周りの大人も機会やきっかけややり方を知らないだけで、だからこそアウトプットの機会やつながり、そして、地域や企業との接続が重要になってきているというふうに思っております。私共の活動は地域の皆様のご理解とご協力をいただいているからこそ、継続ができていているというふうに思っております。できることの持ち寄りが地域と共に社会への接続となっていることを心から願っております。

本日はこのような機会をいただき、本当にありがとうございました。

環境緑化整備事業 西端地区 西荒居広場 植樹式

開催日：2022年3月16日（水）



ロータリー奉仕デー WFFカーボンゼロ植樹 植樹式

主旨：R I第2760地区 地区方針「コロナゼロ・カーボンゼロ支援」に基づきWFF開催に合わせ「カーボンゼロ植樹」をロータリー奉仕デー事業として地区84クラブが実施します。

開催日：2022年3月22日（火）14：00～

場所：油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園（安城市東端町丸の内）

杓名ガバナー、伊藤ガバナー補佐と、刈谷・安城・高浜・知立・三河安城・碧南RCの各会長・幹事と共に、各クラブ1本ずつシダジイを植樹しました。



次回例会案内

令和4年4月9日（土）

春の家族会「徳川園・徳川美術館、なばなの里散策」

バス乗車の方は、8：30商工会議所出発

令和4年4月13日（水）は9日の振替休会

令和4年4月20日（水）

卓話「全員参加で行う経営改革」（Zoomによる卓話）

㈱柿内幸夫技術士事務所 所長、

多摩大学大学院ビジネススクール客員教授 柿内幸夫氏